

### NTTコミュニケーションズ

# 広域バックボーンと通信機器を一括提供する 広域ストレージネットワークサービス「WIDE SAN」

### ストレージネットワークに 特化したネットワークサービス

これまで、ESCONなどのチャネル通信によってメインフレームの世界では当たり前とされてきたストレージネットワークの世界が、FC（ファイバチャネル）SANの登場によりオープンシステムにも急速に拡がり、大容量のディスク装置やテープ装置は、SANを介してサーバと接続されるようになってきた。この動きと併行して、インターネットを介したオンラインバンキングシステムなどの障害が多発する中で、ビジネスコンティニュイティ（ビジネスの継続性）の重要性も議論されるようになってきた。この動きは米国の同時多発テロをきっかけに勢いを増し、データ喪失による企業存続の危機への意識が高まり、現在では、データの遠隔地へのレプリケーションやバックアップに取り組む企業が増えている。また、企業の合併などによるシステム統合/移転プロジェクトの中では、既存システムが持つ大量データを安全かつ迅速に新システムに移行することが不可欠になってきた。このようなことから、ストレージに特化した広域・広帯域のネッ

トワークサービスの必要性が高まっている。

NTTコミュニケーションズ(株)（以下、NTT Com）は、このような広域・広帯域ネットワークサービスへのニーズに対して、ストレージネットワーク環境を広域に展開する、広域ストレージネットワークサービス「WIDE SAN」を提供している。

### 2つのSANをセキュアで 高品質な閉域Ethernet網で接続

WIDE SANは、2つの離れたSAN同士の接続を実現する広域ストレージネットワークサービスで、従来の通信ネットワークに加えて、接続先サイトにはFC-IPゲートウエ

イなどの通信機器も提供するので、包括的な運用管理を行うことができるストレージ専用サービスである。またネットワークは、NTT Comの閉域Ethernet網を利用するので、セキュアで高品質な通信を実現。そして、利用可能なインタフェースは、FC、ESCON、Ethernetなど。帯域メニューは、ストレージネットワークに適した帯域確保型（10Mbps～1Gbps）専用線タイプから目的に応じて選択することができ、提供エリアは、ほぼ全国に対応している。

このWIDE SANのサービス概要は次のとおりである。

### 2拠点のSAN環境をPoint to Pointで接続

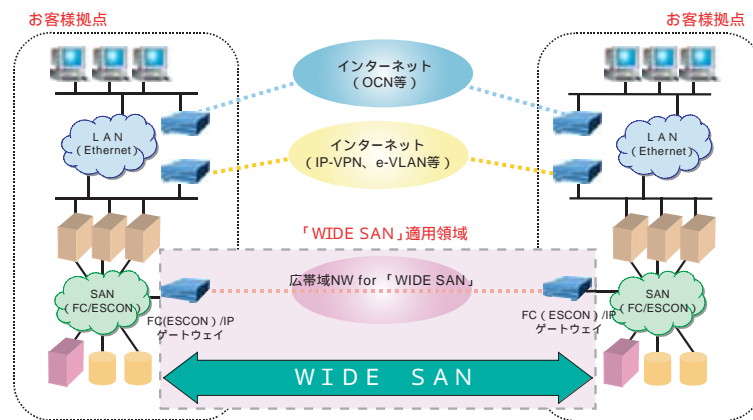


図1 「WIDE SAN」サービスコンセプト

- ・ 2拠点間をNTT Com超広帯域ネットワークでEnd To Endで接続し、広域ストレージネットワークを実現
- ・ FC (ESCON) <-> IPの変換技術を使用して、離れた拠点間のSAN環境をシームレスに接続
- ・ 国内で使用されている主な変換装置を全てサポート
- ・ 遠隔バックアップや遠隔レプリケーションなど、ディザスタリカバリの実現に求められる高速/広域性/柔軟性を低コストで実現  
**シンプルなメニュー体系**
- ・ 提供帯域は100Mbpsから1Gbps (100Mbps以上での中間帯域の提供も可能)
- ・ サービスクラスは、帯域確保型/24時間365日保守のみ
- ・ 提供インターフェースは、FC (ESCON) /Ether
- ・ 利用形態に応じた接続タイプ (CNT、INRANGE、Nishan)  
**1年未満の短期利用にも対応**
- ・ システム移転、システム統合の際のデータ移行ニーズに対応
- ・ 6ヵ月間、9ヶ月間の利用が可能  
**高信頼性**
- ・ 国内主要ストレージベンダーとの接続テスト済み

### リスク回避とコスト削減が可能

現在、WIDE SANは、主に2つの用途で利用されている。1つが拠点間のSANで広域バックアップや遠隔レプリケーションを行い、ビジネスコンティニュイティを実現する

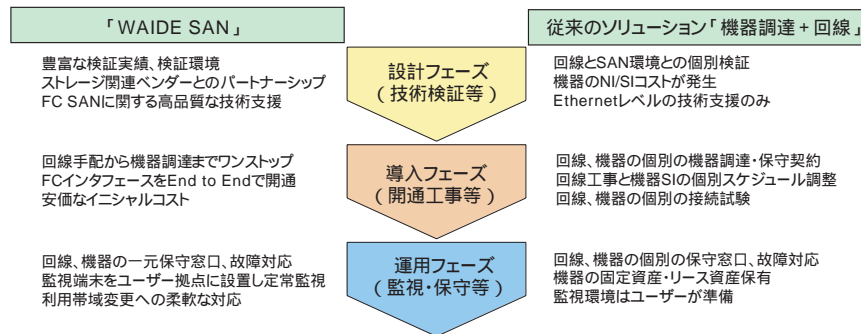


図2 従来のソリューションとの比較

ためのディザスタリカバリソリューションとして利用するケース。もう1つは、大規模システムの統合やデータセンターの移転に伴い、半年や1年といった限られた期間内に大容量データ転送のインフラが必要なケースである。

またWIDE SANは、いきなり広域SANの導入を行うのではなく、現実的なアプローチから利用できるようになっている。例えば、多くの企業では、ディザスタリカバリの前にまず集中化を考えている場合があり、移転・統合に伴うニーズはかなり高いものがある。このようなニーズに対しては、短期貸しのメニューを用意している。これにより、これまでテープに記録してトラック等で物理的に移動させていた重要なデータを、セキュアで高品質なネットワークで転送できるので、データの流出や損失などのリスクを軽減し、同時に作業の効率化を図ることができる。さらに、導入までのプロセスの短縮化が可能なので、その他の作業に多くの時間や人材を割り当てることができ、ネットワークインテグレーション等にかかるコストと時間を

大幅に削減することができる。

### 最適な接続構成を提案

NTT Comは、WIDE SANを提供するにあたり、「広域ストレージネットワーク検証設備」を設置し、各ベンダーの機器およびソフトウェアの相互接続性やパフォーマンス検証を重ねて、信頼性を確保した上で、サービスの提供を開始した。

またサービス提供後は、設計・導入時のテクニカルサポートとして、新たに設置した検証設備「汐留ストレージマネジメントラボ」にて、ストレージ関連各社とのパートナーシップによる、ストレージ関連機器の最適な接続構成を提案。さらに、豊富な検証実績をもとに、データ転送量やトランザクション処理能力などのストレージのスループット設計をサポートしている。

<お問い合わせ先>  
NTTコミュニケーションズ(株)  
ITマネジメントサービス事業部  
ビジネス基盤サービス部  
TEL : 03-6800-8011  
URL : <http://www.ntt.com/itms>